

東京薬科大学新聞

発行所 東京薬科大学新聞会
責任者 隈崎修孝

十一月号

薬学部

平成九年度の就職状況が発表された。今年は薬学部に加え、生命科学部第一期生の就職活動が行われている。結果はどのようなものだったのだろうか。

生命科学部

表を見てまず驚かされるのが、初年度とは思えない程の就職内定率の高さだ。十月十三日現在までに就職希望者数七十四名中、六十五名が内定している。これは、生命科学という新たな分野への社会からの期待が大きいからと言える。だが同時に、先生方が企業へアピールしたり、学生への熱心な就職指導などを行って就職活動を支えて下さった。

薬学部		男子	女子	合計
内定率	平成9年	66%	73%	69%
	平成8年	64%	61%	62%
	平成7年	66%	75%	70%

生命科学部		内定状況	内定率
分子環境	48名中	46名内定	95%
	26名中	19名内定	73%

今回初めて生命科学部という将来性はあるが、まだ知名度の高くない学部の就職が行われた。生命科学という新しい分野を社会にアピールしていくのは今年就職した先輩方と、これから社会に出ていく私達の役割である。現在の生命科学部の三年生への就職指導としては、十月二十二日進路ガイダンスが行なわれたのを皮切りとし、十一月十二日には就職内定者の体験談、二十六日には企業の先輩からのアドバイス等が予定されている。生命科学部就職担当の工藤佳久教授から在学生へのコメントを頂いた。「学部自体の歴史は浅いので、自分が何を持っているかによって評価が決まる。生命科学という学問を身に付けているという自信を持ってもらいたい」

例年、企業への就職活動が始まるのは五月頃からであるが、今年では就職協定の廃止により一カ月ほど早くなった。このため、今年では早い時期から内定者が出始めた。内定先は男子では企業、女子では企業と薬局が大部分を占めていた。また、現段階では未定者の中に病院希望者が多い。これは病院の採用試験が十一月頃から始まるためである。今年の内定率は男女共に例年並みに戻った。特に女子の内定率については、大きな落ち込みを見せていた昨年に比べ、十パーセント以上も増加している。この数年、不況の影響によって求人数の停滞が続いていた。しかし、昨年からわずかながら増加が見られている。最近の景気の落ちつきから考えて来年以降もこの傾向が続くと見てよいだろう。だが、これだけで今後の就職事情を楽観視することはできない。薬学部就職担当の宿前利郎教授にお話を伺った。「大学は、社会で生きていくための知識を与えてくれる場所である。それが就職では大学での成績が重視される。ぜひ、良い成績を取る努力は惜しまないで欲しいと思う。また、就職活動を行う際に、具体的な自分の希望進路を決めおかなければならない。しかも三年生になってから急に決めるのは難しい。一年生のうちから自分がどの方面に向いているかを考えておくべきである」

やがて目的をはっきりさせて早期から就職活動を行うに越したことはない。一・二年生だからといって、油断は禁物である。希望通りの職種につくためには日頃からの努力が必要となるだろう。

日本独自の芸術の価値を認め、愛しているのは日本人だけではない。海外にも日本の古典美術を愛し、その収集に情熱を注いだ人々が数多くいる。その内の一人がアドルフ・フィッシャーである。フィッシャーが生きた時代では、西洋以外の地で独自の芸術などありえないと信じられていた。そんな風潮の中、彼は東洋美術には西洋美術に匹敵する価値があると主張した。彼は多くの貴重な東洋美術品を収集し、その全てをドイツにあるケルン東洋美術館に寄贈したのである。

秋も深まってだいぶ肌寒くなってきた。秋は何をするにも適した季節であるが、皆さんはどんな趣味をお持ちだろうか。★まず秋を代表する趣味といえは読書があげられる。「読書の秋」という言葉があるように、過ごしやすこの季節には読書に向いていると思う。現に公園などで本や雑誌を読んでいる人を見かける。ちょっと気取ってオープンカフェで読書というのでもいいかもしれない★字を読むのは苦手だという人は、散歩を勧めたい。幸い本校のすぐそばには散歩に向いた公園や植物園があり、都立長沼公園などは絶好の散歩コースである。そろそろ紅葉も鮮やかになる頃に足を延ばしてみよう。どうだろうか★インターネットをやってみたいという人には、こんなホームページがある。その名も「検索の鉄人」だ。これはパソコンを持つ人は増えたが、使いこなせている人は少ないことに着目し、十月六日から始まった、日本初の情報検索コンテストである。興味のある人はアクセスして見て欲しい★「味覚の秋」という言葉があるように、秋にはおいしい食べ物が多い。さらにはキノコ狩りなど、自分で採った物のおいしさは格別である。晴れた日にはちよつと遠出をして、おなかを満足させるのもいいだろう★逆に何もしないで、リラクセスするという手もある。一日中寝ているというラックスの仕方は考えものだが、まあ疲れることには違いはない★薬祭も終わり、時間を持て余している人もいるだろう。是非これを参考にして、新たな楽しみを見つけてはいかがだろうか。(ああ無情)

このケルン東洋美術館展では日本・中国・朝鮮の作品、約百二十点が展示されている。日本の美術作品では奈良時代から江戸時代後期までの仏画、絵巻、水墨画を中心にみるのができ、美術館で開催したのである。

び異国で認められた芸術の姿について考えてみてはどうだろうか。なお、このケルン東洋美術館展は、十一月九日(水)曜日は休館、まで池袋メトロポリタンプラザ内、東武美術館で開催される。

本展は、西洋で高く評価されている東洋美術品が母国で展示される貴重な機会である。一度足を運び異国で認められた芸術の姿について考えてみてはどうだろうか。

秋も深まってだいぶ肌寒くなってきた。秋は何をするにも適した季節であるが、皆さんはどんな趣味をお持ちだろうか。★まず秋を代表する趣味といえは読書があげられる。「読書の秋」という言葉があるように、過ごしやすこの季節には読書に向いていると思う。現に公園などで本や雑誌を読んでいる人を見かける。ちょっと気取ってオープンカフェで読書というのでもいいかもしれない★字を読むのは苦手だという人は、散歩を勧めたい。幸い本校のすぐそばには散歩に向いた公園や植物園があり、都立長沼公園などは絶好の散歩コースである。そろそろ紅葉も鮮やかになる頃に足を延ばしてみよう。どうだろうか★インターネットをやってみたいという人には、こんなホームページがある。その名も「検索の鉄人」だ。これはパソコンを持つ人は増えたが、使いこなせている人は少ないことに着目し、十月六日から始まった、日本初の情報検索コンテストである。興味のある人はアクセスして見て欲しい★「味覚の秋」という言葉があるように、秋にはおいしい食べ物が多い。さらにはキノコ狩りなど、自分で採った物のおいしさは格別である。晴れた日にはちよつと遠出をして、おなかを満足させるのもいいだろう★逆に何もしないで、リラクセスするという手もある。一日中寝ているというラックスの仕方は考えものだが、まあ疲れることには違いはない★薬祭も終わり、時間を持て余している人もいるだろう。是非これを参考にして、新たな楽しみを見つけてはいかがだろうか。(ああ無情)

体育祭結果報告

- 十月十五日(水)に体育祭が開催された。今年には体育部門、文化部門、同好会、研究室などの五十一団体が参加し大変な盛り上がりを見せていた。各参加団体は赤と白の二組に分かれ優勝を競った。主な結果は以下の通りである。
- ★総合順位
 - 優勝 白組
 - 準優勝 赤組
 - ★棒引き(女子)
 - 赤2-10白
 - ★棒倒し(男子)
 - 赤2-11白
 - ★がってん!親方
 - パフォーマンス賞 スキー部
 - ★綱引き
 - 赤2-13白

- ★騎馬戦(男子)
 - 赤2-13白
- ★研究室対抗リレー
 - 男子 一位 薬品物理化学
 - 二位 第二薬品化学
 - 三位 第二薬理学
 - 混合 一位 第二薬理学
 - 二位 薬剤製造学
 - 三位 第二薬品化学
- ★スウェーデンリレー
 - 男子 一位 陸上競技部②
 - 二位 環境選抜
 - 三位 サッカー部①
 - 女子 一位 ラクロス部①
 - 二位 ラクロス部④
 - 三位 ラクロス部③
- ★チーム対抗リレー
 - 一位 緑チーム(白)
 - 二位 黄チーム(赤)
 - 三位 紫チーム(赤)

